

平成19年度倉敷市立自然史博物館協議会 議事録（要旨）

（開催日時） 平成20年3月21日（金）14時～15時30分

（開催場所） 倉敷市立自然史博物館講義室

（協議事項） 平成19年度事業報告について
平成20年度事業計画・予算について
第16回特別展「おもしろ！ふしぎ？な動物たち」について
博物館利用者について
その他

（出席委員） 榎本敬会長，河邊誠一郎委員，木下延子委員，定金司郎委員，裾分由美子委員，積木久明委員，藤原純子委員，溝手啓子委員，山地治委員

（欠席委員） 野瀬重人副会長，佐藤國康委員，塩津学委員

（事務局） 八木生涯学習部長，中田館長，江田主幹，狩山主任，佐藤主事，奥島学芸員，武智学芸員

（傍聴者） なし

《議事録（要旨）》

1 開会

2 開会あいさつ

八木部長

3 委員の委嘱

4 会長・副会長選出

事務局：自薦，他薦を問わないので，会長，副会長を推薦していただきたい。

委員：前会長，前副会長に留任していただきたい。

事務局：榎本委員を会長に，野瀬委員を副会長にということによろしいか。野瀬委員は本日欠席なので，後日了承を得たい。

全委員：異議なし。

5 協議

(1) 平成19年度事業報告について（事務局説明）

会 長：委員には事前に資料が送られてきているので、よくご覧いただいていると思う。

(2) 平成20年度事業計画・予算について（事務局説明）

会 長：予算は前年度の実績に比べて、多いのかそれとも少ないのか。

事務局：残念ながら減っている。ただし、綿密な計算をして、最小限のことはできるという額を認めていただいている。金額で比較すれば、20年度が904万円で、19年度は1,070万円となっている。

委 員：何年に1回というような、収蔵資料目録を出版するためのルールはあるのか。

事務局：特にない。博物館の収蔵品を分かりやすく公開することは必要なことと考えている。できるだけ継続したい。しかし、市全体の財政状況を考えると毎年は難しい。

委 員：博物館の収蔵品をコンスタントに増やしていく必要があるのではないか。

事務局：植物・昆虫の標本ダンスと標本箱は経費を切りつめながら継続的に購入している。しかし標本類の購入はほとんどできていない。はく製を製作する手数料は毎年予算をつけていただいている。過去には委託料や手数料で、植物レプリカや動物の亚克力封入標本を製作したことがある。

委 員：寄贈にばかり頼ってはいはだめで、標本を購入することも必要なのではないか。

会 長：当館の植物標本はぎゅうぎゅう詰めになっていて、余裕のなさでは全国トップ。ダンスを増やすだけではだめで、収蔵庫を増やす必要があるのではないか。

事務局：20年度の予算資料で、植物標本ダンスを購入とあるのは昆虫標本ダンスの間違い。隔年で植物と昆虫のダンスを購入している。

委 員：資料収集の予算は削らない方がよい。収蔵庫が建てられない場合でも収集品を減らすことはできない。博物館の価値は50年後に評価される。倉敷市は文化都市なので、収蔵庫をできれば造ってほしい。

委 員：資料は集めればきりが無い。不要なもの、古いもの、価値がないものは整理しないのか。

事務局：資料の受け入れ時点で審査をしている。ラベルがなかったり、学術的な価値が認められない標本は受け入れない。いったん受け入れたもので後に不要になるものはあまりない。文献などの二次資料は吟味して収集を控えている。自然史に関係ない資料は収集しない。図書文献室は今年度書架を増設することができた。

委 員：収蔵スペースに限界があるので、価値があるものを集め、価値がないものは処分していく必要があるだろう。

会 長：展示更新をしているときは予算が多かった。予算が減るばかりではよくない。今度は収蔵庫を造るべきではないか。

事務局：耐震診断の結果が今年度中に出る予定で、その結果次第では方向性を考えなくてはならない。場合によっては、建物を改造するか新館を建設する必要があるかもしれない。次の展示更新は前の展示更新が終わって15年後ぐらいだろう。それまで収蔵庫問題

は待てないかもしれない。市の次の総合計画では、博物館の将来像を提案したい。

委員：管理運営費を除くと博物館の事業費は550万円しかない。もう少し余裕をもった予算をお願いしたい。

事務局：予算は教育委員会全体で1～2割の減額となっている。生涯学習部でも同様に切りつめ、21年度に見送った事業もある。この度の予算は決められた予算で、職員が工夫した結果となっている。

(3) 第16回特別展「おもしろ!ふしぎ?な動物たち」について(事務局説明)

会長：協議会が終わった後で時間に余裕のある方は特別展示室で見ていただきたい。

(4) 博物館利用者について(事務局説明)

委員：博物館に対する市からの評価は利用者数によって変わるのか。無料入館者はどのようにカウントしているのか。

事務局：受付で、通った人を数えている。

委員：高齢者は高齢者手帳を見せないと無料にならないのか。

事務局：高齢者手帳でなくても、年齢が確認できるものがあればよい。

委員：後楽園では生年月日を記入することになっている。

委員：観覧料はいくらか。

事務局：一般が150円、大学生が50円、高校生以下が無料となっている。

委員：無料入館者が多いようだが。

事務局：高校生以下が無料になったので、無料入館者は高校生以下が多い。

委員：ホームページの利用者はカウントされているのか。

事務局：資料には観覧者や行事の参加者しかカウントできていない。

会長：ホームページにアクセスカウンタは付けられないのか。

事務局：付けられないことはないが、情報担当者があまり意味がないといっている。

委員：有料観覧者が増えるに越したことはないが、無料であっても増えた方がいいのでは。

事務局：財政的には有料の方がよいが、長い目で見れば無料の子どもたちは大人になってまた利用してくれるかもしれないし、倉敷市の文化の向上にもつながる。18年度から一般の観覧料が高くなったが、高くなっても有料観覧者が増えている。

委員：隣接する施設との比較はしていないのか。

事務局：していない。

委員：博物館、図書館、美術館の利用者の何割ぐらいが博物館を利用しているのか分かればと考えた。

委員：市立美術館は市内の人でなくても知っている。しかし、博物館はまだ知られていない。入ってみれば興味を持ってもらえる。美術館と博物館のセット観覧券でも工夫してみたらどうか。

事務局：科学センターでは展示室とプラネタリウムが別料金となっている。これをセット券にして安くしたら、全体の入館者が増えた。

委員：美術館にセット券を置いてもらったら効果があるのでは。

事務局：雨の日の利用者が、「ここが一番良かった。また来たい」と言っていた。博物館に入ってみた人には良い評価をもらっている。

委員：博物館だけががんばるのではなくて、全部の施設が連携したらよいのではないか。

事務局：スタンプラリーみたいな形はどうかという意見もあった。貴重な意見を参考にさせていただきます。

委員：外から見てこの建物が博物館であるということがわかりにくい。名前だけでも外壁に付けられないのか。

委員：美観地区近くなので難しいということだった。

委員：表通りに面しているところだけにでも、博物館、図書館、美術館と書いておいたらどうか。

委員：チボリの看板はいっぱいある。

事務局：今後工夫したい。

(5) その他

委員：倉敷の自然をまもる会では、倉敷市西坂の土地を借りて、だれでも自由に遊べるようにしている。博物館も上手に利用してほしい。できれば博物館とまもる会が一緒になって観察会をお願いしたい。

会長：ほかにご意見、ご質問がなければ、これで協議を終了したい。

6 閉会あいさつ

八木部長

7 閉会

以上の議事録を、平成20年3月21日開催の平成19年度倉敷市立自然史博物館協議会議事録（要旨）とすることに同意します。

平成20年3月25日

倉敷市立自然史博物館協議会

会長 榎本 敬

